

# 議 事 録

会 議 名	第27回 宇都宮市環境審議会 議事録	
開 催 日 時	平成26年3月25日（火） 午後2時00分～午後3時30分	
開 催 場 所	宇都宮市役所 本庁舎14階 14A会議室	
出 席 者	環境審議会 委 員	今井 政範委員, 馬上 剛委員, 小平 美智雄委員 菊地 公史委員, 大久保 忠旦委員（会長）, 伊藤 直次委員 黒沢 良夫委員, 竹澤 正樹委員, 近澤 幸嗣郎委員 柿上 淳委員, 高橋 啓子委員, 朝田 尚宏委員 三宅 徹治委員（副会長）, 北村 里美委員, 篠崎 實委員 金枝 右子委員, 黛 美紀男委員, 江島 ゆり子委員 久我 臣仁委員
	欠 席 者	前橋 明朗委員
	事 務 局	環境部次長, 環境部副参事, 環境政策課長, 環境保全課長, 廃棄物対策課長, ごみ減量課長, 廃棄物施設課長, 環境部総務担主幹, 環境政策課課長補佐, 環境政策課職員8名,
公開・非公開	公開	
傍聴者・記者	なし	
会議概要	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会</li> <li>2 環境部長挨拶</li> <li>3 委員紹介</li> <li>4 宇都宮市環境審議会について</li> <li>5 会長, 副会長の選出について</li> <li>6 諮問</li> <li>7 その他</li> <li>8 閉会</li> </ol>	

諮問「第2次宇都宮市環境基本計画の改定等について」

会長 それでは、事務局から「第2次宇都宮市環境基本計画の改定等について」の説明をお願いします。

事務局

— 資料に基づき説明 —

会長 ありがとうございます。事務局からの説明について何か、ご質問はありますか？  
(質問なし)

それでは、「第2次宇都宮市環境基本計画の改定等について」市長から諮問を受けましたので、平成26年度の審議会では、まず、宇都宮市の目指すべき環境都市像について意見をまとめていくこととなります。実質的な審議は次回からとなりますが、せっかくの機会ですので、皆さんが関わっておられる活動などを通して、宇都宮市の環境について、日頃から感じていることや、これからの計画の策定に向けて、検討したり調査したりする必要があると思っていることをお聞きしたいと思います。

それでは、順番にお願いいたします。

委員

今回諮問を受けた2つのテーマは、これからの宇都宮市の環境行動のあり方を方向づける、重要なやりがいのある課題であると感じます。

私が大事にしたいのは宇都宮市らしさをいかに出していくかです。総合計画にもあるように、平成27年度をピークに人口減少が始まり、おそらく激しい都市間競争も始まると思います。そのような中で生き残るためには、魅力ある、住みたくなるような都市を築いていく必要があると思います。宇都宮市が掲げるネットワーク型コンパクトシティや、もったいない運動、LRTなどの特徴的なキーワードを大事にして、どのような都市にしていきたいかなどの全体構造と環境活動との調整を上手くとりながら、宇都宮市らしい計画を作り上げたいと思っています。

委員

環境というと自然環境や労働環境など、色々なイメージを持つ方が多いと思いますが、環境は、全てに繋がっていると思っています。

例えば、経済的な面では、削減できた二酸化炭素を売買できるなど、事業者に経済的な利益をもたらします。LRTに関しても車の利用者が減ることによって、排気ガスを削減できますので、二酸化炭素の削減効果も計算してPRした方が良いと考えています。また、子どもの安全であったり、年配の方が歩きやすい街を作ることができたりと、LRTの環境が住みやすい街イコール環境にもやさしい街に繋がってくると思います。経済、福祉、教育、安全など、全て環境で集約されてくる時代だと考えております。

環境法の観点や、行政書士業の観点から、これからもお話をさせていただければと思っています。

委員

私は、生活に密着した意見しか言えませんが、宇都宮市に来てからの4年間に市街地がずいぶん変わったなと思っています。緑が多くなり、人々に優しい街づくりに力を入れていると感じております。私は、コンパクトシティや少子高齢化社会における街づくりに非常に興味がありまして、住みやすいイコール環境にやさしい街づくりが大事だと思います。今後の街づくりにおいては、何かを壊して作るというよりも、既存のものを使いながら残していくといった観点で考えられたらと思います。

- 委員 宇都宮地方気象台の観測データによりますと、宇都宮市も温暖化の傾向にあります。「自転車の街宇都宮」として自転車を利用される方が多いと思います。天候が良い日ならよいのですが、悪い日になるとメイン通りに出る際、自転車も早いスピードで出てきたり、車も一時停止などをしなかったりと、自転車の交通事故が増えるだろうと感じました。「自転車の街」ということで道路等を整備する際には、安全面も含めて検討していただきたいと考えております。
- また、地球温暖化対策には、行政が主導で企業や一般市民と協力して進めていくことが重要だと思っております。ある市町では、一定期間ノーマイカーデーを行っていました。このような小さな取組を一つ一つ重ねていけば温暖化防止につながるのではないかと思います。小さな取組を大切に、長く行っていただけたら良いと考えております。
- 委員 私は、中国の大気汚染が日本に影響するなど、自然環境というのは宇都宮市や日本だけの問題ではないと思っています。財政的な面で予算確保が大変と伺っていますが、必要なものは予算取りをして頂いて、未来の子供のために頑張りたいと思います。
- 質問ですが、東京 23 区ではプラごみを焼却する際、温水供給や発電などに活用しているようですが、宇都宮市の場合、プラごみはどのようになっているのでしょうか。
- 事務局 分別したゴミは、エコプラセンターで不純物を取り除いた後に細かくして、もう一度プラスチックを造るための材料としています。
- 委員 私は、宇都宮市で行っている“もったいないの約束”と“もったいない運動”に携わっているのも、人と物を大切にする街を作っていきたいと思っています。また、自然環境につきましては、無駄な開発をしないことが大切であると思っています。例えば、鶴田沼は開発して沼のそばまで住宅を作ってしまった。宇都宮の自然は、まだまだ素晴らしい所があると思うので、そのような所の開発を抑制するなど、今ある自然環境を守っていききたいと考えています。
- 委員 ごみの分別など身近にできることから、未来の子供のために、住みやすい安全安心の街づくりに少しでも皆さんと協力できたらいいなと思っています。
- また、もったいない運動についても、地域で活動するときには周囲に呼びかけながら活動していきたいと思っています。
- 委員 今年の 11 月に政策系に関わるフォーラム等の開催を計画しています。その中で環境対策の取組や、青少年を集めて環境の大切さを教えていけたらいいなと考えております。また、青年会議所のメンバーの方々には宇都宮市の政策等を聞いてみたところ、環境問題に対する意識は高い方だと思いますが、政策の中身について知っている方が少なく、一般の方々に PR されていないと感じました。そういったことも踏まえながら広めていけたらなと思っています。
- また、事業者の立場といたしましても、宇都宮市は、非常に渋滞の多い街であると感じております。そういった問題解決も、環境対策や経済効果に繋がっていくのではないかと感じております。環境について、市民のひとりとして意見していけたらと思います。
- 委員 環境政策というものは日常生活に切り離せないものだと思います。国内におきましては、市民の意識も高く、日々環境整備の状況も上手く進んでいると思いますが、中国からの大気汚染などは見ていることしかできないのかと、とても危機感を持っております。宇都宮市域だけでなく、国をあげてどうすれば大気汚染を和らげることができるのか、皆さんで意見を出していかなければならないのだと思います。

- 委員 農業者としての環境保全の問題について、2つ話をしたいと思います。3年前の東日本大震災に伴う原発事故以来、一時的に農畜産物の出荷停止を余儀無くされました。もし、またこのような事故が起きた場合、どのような態勢がとれるのかという観点から見ますと、農業者としては、自然エネルギーに帰るといふ政策も行っていかなければいけないと考えております。
- また、農地への不法投棄物が後を立たず、山地においても非常に目に付くことが多くなっています。不法投棄の問題につきましては、行政としてしっかりと法整備と、対策をしていただきたいと思います。
- 委員 医療現場におきましても、医療ゴミが年々増加してきています。医療ゴミは、その辺に捨てるというわけにはいきません。宇都宮市には、医療ゴミを捨てる最終処分場がないため、他の自治体に持って行って処分している状況です。宇都宮市でも医療ゴミの最終処分場の施設の設置を今後検討していただければと思います。
- 委員 温対法 24 条に基づき、都道府県知事が地球温暖化防止活動推進センターとして1ヶ所指定することができるという規定に基づき、環境技術協会を母体にして指定を受け、地球温暖化防止活動を推進しています。具体的には法律に基づいて普及啓発や団体の活動支援などを基本に行います。防止活動の推進員は、栃木県全体で平成26年度は126名になります。推進員と色々な場所で防止活動に参加したり、環境学習の講座をしたりしています。昨日の新聞で、栃木県で環境審議会から答申がでたと掲載がありました。その中で、再生可能エネルギーの2030年度目標がでていました。国のコメントでは、目標を載せるべきだといっていたが、その辺も踏まえまして、本審議会で意見をさせていただければと思います。
- 委員 栃木県は非常に車が多く、自動車の騒音問題や環境問題におきまして非常に重要だと思っています。最近はハイブリット自動車や電気自動車も増えてきておりますが、燃費を向上させる観点から意見を言えたらと思います。また、大学では振動や騒音に関する研究しておりますので、騒音問題についても意見をさせていただけたらと思います。
- 委員 私は、水素を中心に環境問題やエネルギー問題を解決できないかという研究と教育をしています。人口減少によって街が成り立たなくなることも考えております。住みよい環境、住みよい街づくりということが非常に重要だと思います。それに関しまして、環境問題を一つのキーワードとしてとりあげて、実践していくことが重要だと思います。ただし、基本計画が出来上がって、上手くいったときに出口のイメージがどう作れるのか、もしくはそれが出来たらインセンティブができるのか、税金が下がるのか、そういったイメージをはっきりとして計画を立てていくと市民の人にとってもわかりやすいのではないかと感じております。それに加えまして、環境教育はとても重要で、小さな時から環境問題について教えておければ自然と身についてくることもあるので、総体的に進めていただきたいと思います。
- 委員 今までも議会などで環境について意見を出してきました。その一つは、生ごみをできるだけ出さないようにするという意見です。これはもったいない運動を徹底することや、食べられる物をごみとして出していることが相当あるため、フードバンクのような所で有効に使っていただくことなどを徹底することが大事だと思います。しかし、出てきてしまったごみは、何とかしなければなりません。その場合にはなるべく燃やさないように堆肥を作るべきだと思います。塩分の問題などいろいろな課題があって進まないかもしれませんが、実際行っている他市町村もあります。資源循環が環境社会を作ると思うので、出来るだけ早く実現していただきたいと思います。もう一点は、空き家対策です。これから進められていくと思いますが、高齢化と世代が変わると迷惑空き地も増えていくと思います。その空き地をどうにか利用できないかと提案しました。貸したい人、借りたい人がいると思うので、出来るだけ仲介をして、花壇や野菜を作ってもらうなど、街の中のもったいない土地を活用していくことも、実現していただきたいと思います。

委員

今回のIPPCの会議によると、今世紀末、世界気温が4.6度上昇するだろうと発表されました。温暖化防止に向けて、いろいろな政策を行ったり、意識啓発をしながら、世界レベルで総動員をしながら対策しなければならないものだと思います。宇都宮市も数々の事業を行っていると思います。例えば、新しい事業としてLRTがあります。また、EV、PHVの普及啓発事業や「自転車の街」などに取り組んでいます。民間では、JR烏山線で蓄電池を使った電車が走るなど、先進的事例を見ることもあります。そのような中で、やはり交通環境政策の分野で様々な先進的なモビリティをいかに有機的に繋いでいくか、効果を最大限にしていくか、総合的な仕組みとしてこれから構築していき、モビリティによる環境負荷を低減していくことも必要だと思います。家庭における環境負荷低減策にもいろいろと取り組まれていますし、市有財産を活用した発電事業なども積極的に行っています。このようなことを総合的に組み合わせながら「将来の環境未来都市宇都宮」と言えるくらいの計画を皆さんと一緒に作っていただければと思います。また、計画を作る際には施策を構築するだけでなく、市民も含めて世の中に発信できるような取組みも同時に求められていると思います。ただ、単独では難しいので、国の環境モデル都市などの支援を受けられれば良いのではないかなどと思っています。

委員

今、私たちは3つの大きな問題を抱えていると思います。1つ目は、皆さんもご存知のように国は一千兆円を超える負債を抱えています。国をあげて構造改革をしていかなければならない問題です。2つ目は、人口減少、超高齢化社会を目前にしながらどう開拓していくかという問題があります。30~40年前にも国はわかっていたのにもかかわらず、高齢化社会を迎えてしまい、今何とかしなければならぬ状況です。3つ目は、大気汚染、地球温暖化、原発事故などの環境問題です。これは、日本が世界をリードして、国レベル、世界レベルで取り組んでいかなければならないと思います。そのような中で宇都宮市は環境都市としてどのような街づくりをしていくのか。LRT、自転車の街の推進、交通政策、環境政策が大きく関わっており、その整合性が取れて初めて「環境都市宇都宮」ができるのではないかと思います。また、身近な問題として、ガソリンスタンドのタンクによる土壌汚染や、学校の近くでアスベストを除去する工事が行われる場合があります。子供たちにどのように教育していくのか、安全に対してどのように警護処置していくのかなども身近な問題です。また、電化製品の買い替えなどによりフロンガスが出ます。法律が改正され、フロンガスを回収してから破壊措置をすることが決まっておりますが、空気中に発散させないと、割に合わないという現実問題があります。このため、法律に追いついていないというのが実態だと思います。フロンガスは地球温暖化の原因の一つであり、身近な物が環境問題になることがありますので、本審議会でこのようなことも議論できればと思っています。

委員

今、国では少子化対策に向けたバックアップの仕組みができています。宇都宮市に子どもたちが来るような仕組み作りは良いと思いますが、子どもたちにどういった環境を残せるのかということが大切だと思います。この会議で宇都宮市の環境はどうするのかということを決めて、良い環境を残せるような施策を取っていくと、広報出来れば良いと思っています。大人が子どもたちに環境の大切さについて教えていき、環境に関心を持った子供たちが増え、いずれその子どもたちが大人になります。教育の面でも強く推し進めるような話し合いが出来れば良いと思っています。平出工業団地では煙突から煙が出ており、安全で対策を取っていただいているのだとは思いますが、気持ちとして心配な人もいます。産業と環境どちらも大切であり、そのバランスをとって推し進めることは大変なことだと思います。原発も必要か不必要なのか難しいですが、バランスをどのようにとっていくのかということ国で話し合っています。本審議会でもしっかりと話し合っ、宇都宮市は環境に配慮しながら街づくりをしているということアピールできれば良いと思います。

会長

ありがとうございました。良いご意見がたくさん聞けたと思います。みなさんのご意見をできるだけ活かしていきたいと思っています。

7 「その他」について

- |     |   |
|-----|---|
| 会長  | それでは、「7. その他」に移ります。<br>委員の皆さんから何かございますか。<br>（意見なし）<br>事務局から何かありますか。 |
| 会長  | それでは、進行を事務局にお返しします。   |
| 事務局 | 以上をもちまして、「第27回 宇都宮市環境審議会」を閉会いたします。                                  |